

## 福祉教育常任委員会

平成30年1月25日・26日  
**研修地** 千葉県佐倉市  
**「認知症にやさしい佐倉」**

佐倉市の認知症の取り組みは、高齢福祉課 包摂ケア推進班が中心に進められています。この班では10人が、①介護予防に関すること②認知症対策に関すること③物忘れ相談④在宅医療介護連携に関すること⑤生活支援体制整備に関すること。のそれぞれに対応されています。

認知症サポーターの養成状況は、平成18年に169人からスタートし、平成29年12月末では1万7783人と10倍以上となっています。素晴らしいと思っただのは、中学生サポーターの養成が進められていることです。佐倉中学校では認知症サポーターの出前講座が行われ、中学生サポ-

ターを養成し、実際に声掛けで成果を上げているとのことでした。そして市職員全員に対してサポーター養成講座を行っていることで

**研修地** 静岡県静岡市  
**「名勝三保の松原の保存・育成・管理」について**

名勝三保の松原の基本情報  
 ◎2万年かけて安倍川の土砂から形成。  
 ◎現存のマツの樹齢、古いもので200年超（神の道龍の松 測定結果257年）  
 ◎2013年（平成25年）「富士山―信仰の対象と芸術の源泉―」の構成資産として登録・三保の松原に関する行政組織は6課と1事務所が、静岡県において、4課と1研究センターが関わっています。県と市が連携した組織がつくられてい



静岡市

ます。  
 ◎日常管理は松葉掻き、下草刈り、つる除去、除伐、補植が行われています。ウツクシマツの保護育成の取り組みと変わらないが、大きく違うのは規模の大きさでした。具体的にはこれらの活動に参加する人数が違う。専門的管理は密度管理、マツ材線虫病対策、個体管理システムの構築、有識者による助言、資格取得（樹木医、松保護士）の活動。2名の職員が樹木医の資格を持ち、松保護士の資格も1名の職員が持つておられました。静岡市あげでの取り組みとなっていることを強く感じました。

## 産業経済常任委員会

平成30年1月22日・23日  
**研修地** 大阪府河内長野市  
**奥河内くろまろの郷**

農家レストランの規模は小さいものの多くの女性客で賑わっていました。春夏秋は軒下での食事も可能となっています。メニューとしてはバイキング形式、回転率は悪いが手間が省かれています。メインに地元野菜の天ぷらがあり、サラダ、惣菜、郷土料理、ごはん、そば、飲み物なども充実。接客に経費はかけず、食材とレパートリーで還元する方針のようです。店の雰囲気、メニュー、値段、滞在時間も当初から女性をターゲットに絞り運営をされている様で、売上も当初目的を達成出来るということでした。

**研修地** 奈良県葛城市  
**道の駅 かつらぎ**  
 農家レストランは合計6店舗、直営2店舗

	みらい公園 湖南	奥河内くろまろの郷	道の駅 かつらぎ
敷地面積	約9,636㎡	約17,704㎡	約33,000㎡
直売所面積	約1,347㎡	約1,456㎡	約711㎡
総事業費	約8億円 (レストラン含)	約14億円	約31億円
管理の形式	指定管理	指定管理	指定管理
管理者	JAこうか (ここびあ)	JA大阪南	（株）道の駅葛城
営業時間	9時～19時	9時～18時	8時半～19時
想定売上/年	H29年度 2億3400万	H29年度 5億	H28.11～H29.10 8億1千万円
レストラン面積	約212㎡ (建設中)	約175㎡	約350㎡



という形態で、大半は直営店での売り上げではないかと感じます。指定管理者である経営母体の地域性が強いのは、その影響があるのではと思います。フードコート形式となっており、惣菜を何点か選べるため、季節に応じて地元野菜の活用が可能になっています。

双方の直売所では、花の販売が充実され売上也好調。集客の大きな要因となっていました。